

## 島根県競技力向上対策本部 設立趣旨（案）

多くの関係者のご尽力により、令和12年（2030年）に第84回国民スポーツ大会が本県において開催されることとなりました。

昭和57年（1982年）に島根県で行われた「くにびき国体」を振り返ると、県民が一丸となり、それぞれの立場で大会を支え、全国から参集した大会関係者及び観客を温かく受け入れるとともに、島根県選手団の白熱したプレーによる天皇杯・皇后杯の獲得は、県民に一体感をもたらし、島根に対する誇りや郷土愛を育むなど、県政発展の礎を作り上げました。

また、国体で競技会場となったことをきっかけに地域にスポーツが根付き、子どもから大人までがスポーツに親しみ、世代と地域を超えて人と人との交流が生まれるなど、地域づくり、人づくりにつながったことも大きな成果であります。

少子高齢化による人口減少の進展や新型コロナウイルスの感染拡大など、現代社会を取り巻く社会環境は大変厳しい状況ではありますが、スポーツ選手が勝利に向かってひたむきに取り組む姿は、多くの人々に感動を与え、閉塞感を打破し、前に向かって進む勇気を与えてくれるものと確信しています。

この大会を通して、島根県選手団が活躍することこそが、競技関係者はもとより、それぞれの立場で大会開催に関わる多くの県民の努力と期待に応え、さらなる県勢発展に寄与する力になるものと考えています。

今後、天皇杯・皇后杯の獲得を目標に、県・市町村・各関係団体等、幅広い主体の参画により、県民の理解を得ながら、総合的かつ計画的に競技力向上に取り組む、大会後も安定した競技力を維持し、さらなる本県のスポーツを推進していくため、ここに「島根県競技力向上対策本部」を設立します。